

2023 年度第 4 回定例理事会 抄録

日時： 2023 年 7 月 15 日（土）13：00～16：47

方法： Zoom システムによる Web 会議

出席： 山本（会長）、大庭、香山（副会長）、池田（望）、酒井、清水、関本、高島（千）、谷川、早坂、村井（常務理事）、池田（勝）、上田、島崎、高橋、竹中、辰己、谷口、土居、能登、二神（理事）、岩瀬、澤、長尾（監事）

陪席： 東、小賀野、宮井、岡本、杉田（潤）、茂呂、岩花（事務局）

I. 報告事項

1. 議事録

1) 2023 年度第 3 回定例理事会（6 月 17 日） 書面報告

2) 理事会の決議の省略（7 月 4 日） 書面報告

2. 職務執行状況報告

1) 山本伸一会長 書面報告

(1) 会員の入退会 書面報告

(2) 他組織・団体等の協会代表委員名簿（2023 年度：7 月三役会現在） 書面報告

(3) 政治活動に関する士会への説明会について 7 月 7 日に Zoom による説明会を実施し、全国から 171 名が参加。オンデマンド配信も行った。

(4) 「リハ専門職の処遇改善等に係る地方選出国會議員等への訪問について」依頼文書（発出版） 書面報告

(5) システム開発工程におけるデータ移行追加作業の費用負担について 新システムにおけるデータベースの統合にあたり「移行データ設計書」に不備が見つかり、追加のデータ移行作業が必要となった。業者側と交渉を重ねた結果、費用は折半とした。

2) 大庭潤平副会長 書面報告

(1) 2023 年 5 月期の収支状況について 国家試験合格者は過去 4 年では最も多いが、5 月の入会者数は 891 名と直近 5 年間で最も低い状況になった。

(2) 2024 年度収入予測について 2024 年度の収入は、過去 10 年間の傾向を根拠に算定した結果、8 億 2,719 万 1,400 円と予測している。

- (3) **2024 年度予算案の審議スケジュールについて** 「2024 年度予算の審議スケジュール」を作成した。
- (4) **公式な協会組織図と内部資料について** 公式な協会組織図と、各部・委員会等で説明する際に利用可能な内部資料を作成した。公式な協会組織図については、本会のホームページにて公表する。
- (5) **飯田賞の推薦と審査結果について** 書面報告
- 3) **香山明美副会長** 書面報告
- (1) **第 7 回日本リハ医学会秋季学術集会合同シンポと今後の同学会からの依頼の対応について** リハ医学会から依頼があった合同シンポジウム企画については認知症をテーマに準備を行っている。今後、同学会より同様の依頼が来た場合には、学術部で対応する。
- (2) **令和 6 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者推薦について** 該当者がいなかったため今回の推薦は行わないこととした。
- 4) **三澤一登副会長** 書面報告
- (1) **渉外活動報告** 書面報告
- 5) **酒井康年常務理事** 生活行為工夫モデル事業を活用した明石モデルは予定どおり進んでいる。また、パラスポーツの中級講習会も開催に向けて準備を進めている。
- 6) **関本充史常務理事** よんばちに関しては、「協会員＝士会員」実現のための具体的なタイムスケジュールを示すために準備を進めている。
- (1) **訪問リハビリテーション振興委員会／訪問リハビリテーション振興財団報告** 訪問リハ振興委員会では、8 月 26 日に第 14 回訪問リハ・地域リーダー会議の開催が確定。訪問リハ振興財団の研修班では、7 月 22 日、23 日に管理者養成研修会、8 月 26 日に実務者研修会を実施する。
- 7) **清水兼悦常務理事** 書面報告
- (1) **事例報告登録制度：一般事例の審査状況と今後の対応について** 現在、再報告された 133 事例について順次審査依頼を進めており、審査依頼の終了は 2023 年 12 月頃と予測。事例を蓄積し、作業療法の成果を示すための体制整備については、継続して検討していく。
- 8) **早坂友成常務理事** 臨床実習指導施設認定審査および臨床実習指導者実践研修修了認定申請審査に関する承認を行った。教育部関連では全国作業療法士養成校連絡協議

会や東京都作業療法士養成校連絡協議会に出席し、情報共有と質問に対する回答を行った。

9) 高島千敬常務理事 書面報告

(1) 全国リハビリテーション医療関連団体協議会からの令和 6 年診療報酬改定要望 今回は 9 団体から 2 つずつ要望を挙げ、そのなかから重点要望項目を絞り込み、6 つを要望することになった。そのうち、「2. 診療報酬における施設外リハビリテーションの推進」が本会から挙げたものだ。

10) 谷川真澄常務理事 地域社会振興部の 3 課 6 セクションにおいて、部長、統括課長、各セクションのリーダーを決定した。7 月に入ってから豪雨災害に対する支援については、事務局と対応を検討している。

11) 池田望常務理事 6 月 2 日に開催された第 48 回日本精神科看護協会学術集会に会長代理として出席した。

12) 村井千賀常務理事 書面報告

(1) 渉外活動報告 書面報告

(2) 業務執行報告 今年度の MTDLP 指導者数は 265 名で、昨年度から 20 名近く増加。令和 4 年度老人保健健康増進等事業関連では、本研究報告会を 10 月 21 日に実施する。昨年度作成した「認知症のリハビリテーション」の周知パンフレットを各都道府県医師会に配布する予定。令和 5 年度老人保健健康増進等事業については検討委員会を 8 月 6 日に開催する。

3. その他理事活動報告

1) 渉外活動報告 書面報告

4. 委員会等の活動報告

1) 教育関連審査会 書面報告

2) 組織率対策委員会 書面報告

3) 「協会員＝士会員」実現のための検討委員会 書面報告

4) APOTC 実行委員会 書面報告

5) 倫理委員会 書面報告

6) 地域共生社会対策委員会 書面報告

7) MTDLP 事例審査会 書面報告

8) 学術誌編集委員会 書面報告

5. その他の報告

1) 日本作業療法士連盟活動報告 書面報告

II. 決議事項

1. **2024 年度重点活動項目について**（香山副会長、小賀野企画調整担当） 本年度の重点活動項目の実施状況および来年度の 5 ヶ年戦略の工程表を踏まえ、来年度の重点活動項目の方向性について審議を開始。理事会の意見を踏まえ、8 月常務理事会で検討し、10 月理事会に事務局案を提案。遅くとも 12 月理事会で承認の運びとする。 →承認
2. **理事の担当職務に関する一部修正・追加について**（山本会長） 前回理事会で承認いただいたが、実態に合わせて一部修正・追加をする。 →承認
3. **特定個人情報取扱規程の改定について**（大庭副会長） 新体制に合わせた新たな部署名と職位に変更。また、担当者が変わるたびに規程を改定する煩を避けるため、規程本文に個人名を記載することはやめ、内規を定めて、そこに担当者名を明記する。 →承認
4. **学術委員会内 ICF データ収集分析システム検討小委員会の設置について**（清水常務理事、村井常務理事） 学術委員会内に ICF データ収集分析システム検討小委員会を設置する。 →承認
5. **委員会等の構成員の承認について**
 - 1) 広報戦略委員会
 - 2) 災害作業療法検討推進委員会
 - 3) 倫理委員会
 - 4) 教育関連審査会
 - 5) 課題研究審査会
 - 6) MTDLP 推進委員会
 - 7) 学術誌編集委員会：AsJOT 査読者
 - 8) 学術委員会内 ICF データ収集分析システム検討小委員会
 - 9) 選挙管理委員会
 - 10) 教育審議委員会
 - 11) 精神科の作業療法あり方委員会
 - 12) 認知症バリアフリー社会推進委員会（山本会長） 10 委員会と 2 審査会の構成員を承認願いたい。 →承認

6. 障害者虐待に対する日本作業療法士協会としてのアクションについて（山本会長） これまでの検討を踏まえて三役案を提案。会員向けのメッセージとしてホームページにて公表する。 →字句の一部修正および会員・都道府県作業療法士会へのメール配信を含めて承認
7. 学術誌『作業療法』の発行形態と配付方式について（清水常務理事） アンケートの回答結果および現在の紙媒体配付希望者数より、紙媒体と電子データでの発行、希望者に無料配付という現在の発行・配付方式を継続する。 →次年度分については承認
8. 2024 年度がんリハ研修会開催について（竹中理事） 次年度の開催時期を 4 月とし、その準備を今年度から行う。4 月開催の申込施設数が開催最低施設数を満たさない場合は開催時期を延期し、秋頃とする。 →承認
9. 「作業療法士教育の教育水準」（改訂第 5 版）の一部修正について（竹中理事） 2023 年度 WFOT 認定校審査において、「作業療法士教育の教育水準」（改訂第 5 版）の一部修正をし、改訂第 5.1 版とする。 →一部字句の記載の要否について後に報告することとして承認
10. 『作業療法士の職業倫理指針』の改訂について（大庭副会長） 時代の変化と作業療法の新定義に合わせることを基本方針として改訂案を示す。 →継続審議
11. その他

以上